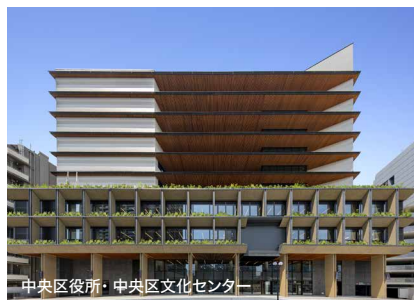


「あたりまえの日常」を届ける

公共建築物、上下水道、クリーンセンター、交通、港湾施設等、市民生活に欠かせない施設の整備に携わることで、神戸に“あたりまえの日常”を届ける。

建築設備

庁舎、学校、博物館、体育館等の公共施設(魅力あるまちづくり)



プラント設備

上下水道、クリーンセンター等(くらしの安全安心を守る)



運輸インフラ設備

地下鉄、バス、道路、空港、港湾施設等(快適な社会を創る)



「まちづくり」という大きなプロジェクトへの参画

都心・三宮再整備に代表される大規模なプロジェクトに、総合設備職員も携わっています。



脱炭素社会への貢献

太陽光発電、消化ガス発電、ごみ発電、小水力発電、水素事業、雨水利用及びコージェネ設備などの導入により、自然エネルギー活用や省エネルギー化に取り組んでいます。

主な配属先

- ・建築住宅局
- ・建設局
- ・水道局
- ・環境局
- ・交通局
- ・港湾局 など

データで見る総合設備職員

(2024年4月時点)

総合設備全体

438 名

うち、役職者人数

166 名(係長級以上)

年代別人数

20～30代: **186** 名 40代以上: **252** 名

民間経験者の職員も活躍中！

Q どの業界からの転職が多いの？

A メーカー、インフラ関係など

Q 総合設備職員全体の中で経験者採用の人ってどれぐらいいるの？

A 約22%

神戸市人事委員会

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1

神戸市職員採用ホームページ

神戸市 職員採用 検索



TEL 0570-083-330

または 078-333-3330

神戸市お問い合わせセンター
(年中無休 8時～21時)



メールでの
問い合わせはこちら

2026年5月発行

神戸市職員

職務ガイド [総合設備(電気・機械)]



神戸の街に、“あたりまえの日常”を安全・安心に届けます。



総合設備職員とは？

公共施設の建築設備、上下水道・クリーンセンターなどのプラント設備、交通施設・港湾施設などの運輸インフラ設備における、さまざまな電気・機械設備の計画・設計・工事監理及び保全が主な業務です。電気職員は主に受変電・発電機・照明・防災・通信・中央監視などを、機械職員は各種プラントをはじめ、空調・給排水・防災・自動制御などを担当し、行政職員としての総合的な調整力や技術力を活用しながら安全・安心で快適な市民の暮らしを支えています。



「電気」について
詳しくはこちら



「機械」について
詳しくはこちら



「電気・機械」の
紹介動画はこちら

よりよいまちづくりのために
スキルアップを積み重ねる



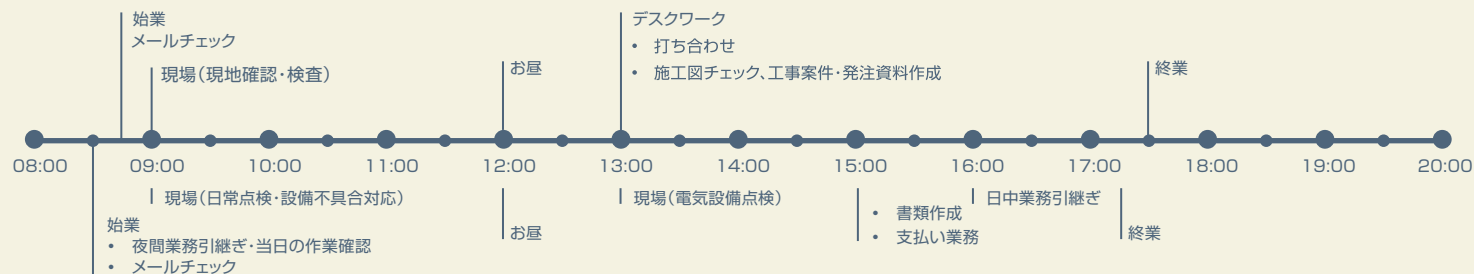
ながはる まさあき
永春 成章

建築住宅局 設備課
2014年入庁

電気

設備課に異動してすぐに、大規模小学校の校舎増築工事という大きな事業を担当しました。最初はわからないことばかりで不安な日々でしたが、工事業者との打ち合わせでわからないことは丁寧に確認し、部署内でも相談を重ねながら完成まで進めました。やり切ったなという達成感に加え、スキルアップも実感でき、自信にも繋がっています。

普段は、学校や区役所などの公共施設の電気設備工事の設計・工事監理業務を行っています。日々、仕事に向き合っていると今まで知らなかった新しい知識や発見に出会います。本質的な仕組みを理解し、自分の頭で考えることを積み重ねる。自身の知識と技術力でこれからの神戸のまちづくりに貢献していきたいです。



学生時代の学びが生き、
成長を実感できる職場環境



おおがわ しゅうじ
大瓦 修司

環境局 港島クリーンセンター
2018年入庁【民間企業勤務経験あり】

電気

地元の神戸に腰を据えて働きたいと考え、ワーク・ライフ・バランスを大切にできる環境を求めて転職しました。現在は港島クリーンセンターで電気設備の保守点検や不具合対応、ごみ発電の送電・停止に係る連絡調整などを担当しています。

クリーンセンターの維持管理業務では、電気・機械設備だけでなく、ごみ焼却や排ガス処理に関する知識も必要です。そのため、日々の業務を通して幅広い分野の知識を身につけられる点にやりがいを感じています。また、高い専門性を持つ上司や先輩職員から指導を受けられる環境も大きな魅力であり、総合設備職としての成長を実感しています。以前は急なトラブルに対して判断に迷う場面もありましたが、現在では状況に応じた臨機応変な対応ができるようになりました。今後も市民の皆さまの安全で安心な暮らしを守るため、維持管理業務を通じてクリーンセンターの安定稼働に努めていきたいです。

プライベートでは子育てに奮闘中です。3歳の息子はごみ収集車が好きで、いつか自分の職場を見学してもらいたいと思っています。



神戸の未来を担う
子どもたちのために



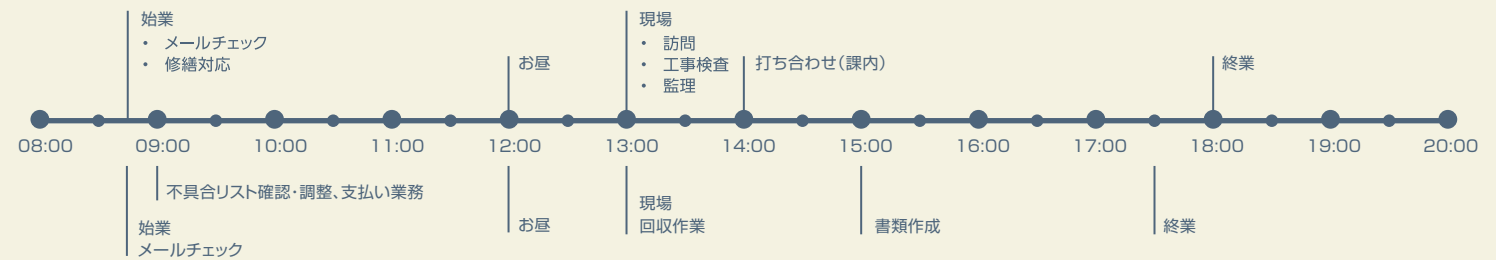
おおたに みずき
大谷 瑞季

教育委員会事務局 学校支援部学校環境整備課
2016年入庁【民間企業勤務経験あり】

機械

民間の設計事務所に勤務したのち転職を決意したのは、生まれ育った神戸の建物設計に携わり、神戸の発展に貢献したいという想いから。主に、神戸市の小中学校、高校、支援学校等の既設設備の修繕・計画的更新、新設方法の検討と方針決定を行っています。施設一つ一つの安全・安心はもちろん、利用しやすさにも考慮しており、見栄えの良さだけではなく、空調や給排水などの目に届きにくい機械設備も重要視しています。

学校設備の不具合が起こった際は、学校運営に大きな影響が出ないように直接現場へ訪問し修繕作業を行うこともあります。子どもたちから直接「空調を直してくれてありがとう」などの感謝の言葉をかけてもらった時は、今後の未来を担う子どもたちのためにもっと自分も頑張ろうと思うことができます。



市民生活を支える
仕事に誇りを持つて



かとう ぎんじ
加藤 銀二

交通局 高速鉄道部 地下鉄車両課
2024年入庁

機械

私の部署は、車両の検査計画立案、基地内設備の維持管理、日々の車両不具合対応・整備など、地下鉄の車両に関することを担当しているため、市民生活に直接関わっていると実感できる場面が多くあります。その分、日々安全かつ正確に運行しなければならないという責任感が自然に芽生え、1年目からしっかりと責任をもち、業務と向き合えました。また、毎年交通局が主催となって行われるイベント「交通フェスティバル」では、1年目で準備から運営に携わり、鉄道ファンを中心に市民のみなさんと直接交流ができる場として私自身も楽しみながら多くの学びを得ることができました。

どこか安全・安心に使えることが当たり前に思われがちな公共インフラサービスも、守るひとがいるからこそ、市民生活を支える自分たちの仕事に誇りを持続していきたいです。

